

ろくおん 通信

2019年4月1日発行

発行 日本ライトハウス情報文化センター

録音製作係

発行責任者 竹下 亘

電話 06-6441-1017

FAX 06-6441-1027

http://www.iccb.jp/

No.233

今号の内容

◎聴いてわかる録音図書をつくるために（第46回）……………1ページ
漢字の補足

◎もっと知ろう！「ウェブスタジオ・なにわ」（第24回）……………2ページ
「校正票」について

◎わかる 使える 広がる！ デイジー図書徹底解説（第19回）……………5ページ
雑音、間（ま）、音量の調整

聴いてわかる録音図書をつくるために（第46回）

漢字の補足

久保洋子

漢字の用語には同音異義語、著者の造語など、そのまま読むとわからないものがあります。そんな時、録音図書では文字を一字ずつ説明したり、時には意味を言いそえたりします。

こんな時には説明ができていればいいというわけではなく、聞いてわかるように注意することが必要です。

1. 文意から離れない補足を心がける

「日支事変」という用語の「日支」の補足として「日本のニチとササエル」とすると、漢字の特定はできます。しかし「日本を支える」と聞いて、日本と支那（中国）のことだと、すぐにわかるでしょうか？ 別の意味を考えてしまうこともありそうです。

録音図書を聴いている途中で「？」と思った場合、思考は止まっても音はどんどん進んでしまいます。そんなことが度々あると、快適な読書はできません。

漢字の特定が必要なこともありますが、漢字の説明をすることで、文意が正しく伝わればいいことの方が多いと思います。

2. 熟語を探すよりも訓読みした方が有効な場合も

「日支（日本のニチと支那のシ）」のように、そこで使われている意味が伝えられる

熟語があればいいのですが、難しい時には訓読みでいいと思います。

熟語で説明する時は、本文の意味から離れない用語を選ぶことが大切です。

3. 漢字の特定にこだわりすぎない

例えば「揚水」「浮揚」の「揚」の字の説明が必要な場面があったとして、「あげる」と読んだとします。

大辞林で「あげる」は「上げる」「揚げる」「挙げる」の三つの表記があげられていますが、そのどれであるかを特定しないといけない状況になることは、そんなに多くありません。「揚水 (アゲルとミズ)」「浮揚 (ウクとアゲル)」でいいと思います。

4. 意味を言いそえてもいい

同音異義語が度々出てくるような時には、意味を言いそえた方が内容を伝えやすいこともあるように思います。

意味を言いそえるときには本文と区別がつくように入れてください。聞きなれない熟語とその意味を続けて入れると、二つの言葉に聞こえることがあります。

例えば「欠刻 (切れ込み)」と読んだ場合、「欠刻、切れ込み」と並んで書かれているように聞こえてしまうので、この場合は「切れ込みのこと」と言いそえるといいのではないのでしょうか。



もっと知ろう! 「ウェブスタジオ・なにわ」 (第24回)

～ボランティアの皆さんから寄せられる質問などを、毎回少しずつ紹介しています～

「ウェブスタジオ・なにわ」に関する疑問を少しずつ解消するこのコーナー。今回は、質問が多く寄せられる「校正票」に関してです。

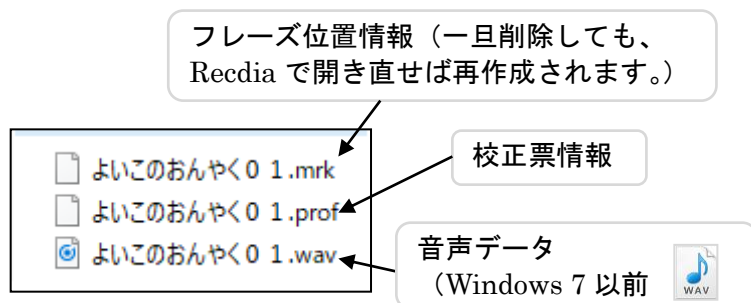
◆「校正票」について

「ウェブ校正票」はウェブスタジオ版 Recdia と連動しています。

必ず「音声データ」(末尾に .wav と付くファイル) と同じ図書名のフォルダに保存します。

➤ 校正票ダウンロードに関しては No. 225 (2017年12月) 参照

➤ 校正票を Recdia で表示し修正録音する方法は No. 226 (2018年2月) 参照



◆「校正状況」の確認……音訳者の場合

「音訳データ一覧」の画面で、「校正状況」の確認ができます。

- (1) ウェブスタジオ・なにわトップページの **音訳データ送信** をクリック
- (2) [音訳データ一覧を参照する] をクリック
- (3) 「表示する図書」の **M** で該当図書を選ぶと、音訳データが表示される
- (4) 各音訳ファイルの「校正状況」と「修正回数」を見る

録音が進行中のときのファイル

校正状況：校正票が届いたり、「修正済音訳データ」を送信する度に表示が変わります

修正回数：「修正済音訳データ」を送信した回数です

削除	校正状況	修正回数	送信日時	開始		終了		朗読データ
				頁	行	頁	行	
<input type="checkbox"/>		-	2019/03/25 09:20	21	1	30	-1	よいこのおんやく03.wav
<input type="checkbox"/>		-	2019/03/25 09:20	11	1	20	-1	よいこのおんやく02.wav
	確認済	-	2019/03/25 09:20	1	1	10	-1	よいこのおんやく01.wav

* 校正状況が空欄で修正回数「-」（上から1行目と2行目）

：校正者からの校正票が届いていない

* 校正状況が「確認済」で修正回数「-」（同3行目）

：校正者からの校正票が届いた

校正票一覧 の「校正可否」欄を確認して、「校正あり」なら修正録音をし、「校正なし」の場合は校正票のダウンロードだけを行ってください。

書名	音訳データ	校正可否	開始		終了		受信日時
			頁	行	頁	行	
よいこのおんやくはじめのえほん	よいこのおんやく03.wav	校正なし	21	1	30	-1	2019/03/25 10:11
よいこのおんやくはじめのえほん	よいこのおんやく02.wav	校正あり	11	1	20	-1	2019/03/25 10:11
よいこのおんやくはじめのえほん	よいこのおんやく01.wav	校正あり	1	1	10	-1	2019/03/25 10:11

録音が終了し、「修正済音訳データ」の送信が完了したら…

削除	校正状況	修正回数	送信日時	開始		終了		朗読データ
				頁	行	頁	行	
<input type="checkbox"/>		-	2019/03/25 09:20	21	1	30	-1	よいこのおんやく03.wav
<input type="checkbox"/>		-	2019/03/25 09:20	11	1	20	-1	よいこのおんやく02.wav
<input type="checkbox"/>		1	2019/03/25 10:11	1	1	10	-1	よいこのおんやく01.wav
	確認済	-	2019/03/25 09:20	1	1	10	-1	よいこのおんやく01.wav

* 同名のファイルが2つ並びます

① 今回送信した、校正状況が空欄で修正回数「1」のファイル（上から3行目）

② 前回送信した、校正状況が「確認済」で修正回数「-」のファイル（同4行目）

デジ編集者からの校正票が届いた後

* 編集者から校正票が届くと、修正回数「1」のファイルの校正状況が空欄から「確認済」に変わります。修正済み音訳データを送信すると、新たに“校正状況が空欄、修正回数「2」”のファイルが一覧に表示されることとなります。

※ 編集者からは校正票が複数回届くことがあります(校正者からは1回のみ)。

* 校正票に挙がっているすべての項目の訂正が終了したことを編集者が確認すると、校正状況が「確認済」から「承認済」に変更されます。

削除	校正状況	修正回数	送信日時	開始		終了		朗読データ
				頁	行	頁	行	
	承認済	-	2019/03/25 09:20	21	1	30	-1	よいこのおんやく03.wav
}	承認済	1	2019/03/25 11:03	11	1	20	-1	よいこのおんやく02.wav
	確認済	-	2019/03/25 09:20	11	1	20	-1	よいこのおんやく02.wav
	承認済	2	2019/03/25 12:14	1	1	10	-1	よいこのおんやく01.wav
}	確認済	1	2019/03/25 10:11	1	1	10	-1	よいこのおんやく01.wav
	確認済	-	2019/03/25 09:20	1	1	10	-1	よいこのおんやく01.wav

* 「校正票一覧」画面の校正可否が「校正あり」の校正票の場合、修正済み音訳データを送信し終わると、同名ファイルが3つ以上並びます。

* 編集からの校正表が校正可否「校正なし」の場合、同名ファイルが2つ並びます。

* 校正者・編集者の校正票がともに「校正なし」の場合は1つのみです。

◆ 校正票に関するQ&A

Q 1. 校正票が届いていなくても、次の音訳データをアップしていいのでしょうか？

A 1. 校正者が決まっているのに1枚目の校正票が届かない場合は、2枚目の音訳データをアップする前に、職員にお問合せください。2枚目以降は、校正票が届かなくてもアップしていただいて構いません。

Q 2. 修正録音をする必要のない校正票が届きました。どうすればいいですか？

A 2. 3つのケースがあります。

① 校正可否が「校正なし」で、校正票の通信欄に‘何もありません’などと記入されている場合⇒ 修正済音訳データ送信の必要がないので、何もしなくて良いです。

② 校正可否が「校正なし」で、校正票の通信欄にも「校正行」にも何も記入されていない場合⇒ ①と同様です。

③ 校正可否が「校正あり」で、「校正行」の1行目に‘何もありません’などと記入されている場合⇒ 校正票をダウンロードし、[修正済音訳データを送信する]で該当の音訳ファイルを送信してください(修正作業は不要です)。

Q 3. 校正票に記載されている事項以外に修正したい箇所があります。修正してもいいでしょうか？

A 3. 2つのケースがあります。

- ① 編集者がまだ決まっていない場合⇒ 修正録音してください。連絡は不要です。
- ② 編集者が決まり、編集作業が始まった後⇒ 修正録音した後、必ず「記載項目以外の箇所を修正した内容」をウェブスタジオ・なにわの「連絡票」で編集者に連絡してください。

Q 4. 校正票の修正済チェック欄にチェックを入れ忘れたのですが……

A 4. 校正票の画面では‘修正録音していない’状態になっています。校正者宛てに、連絡票などで、チェックを入れ忘れた旨の連絡をお願いします。

Q 5. 校正票に「雑音（口中音）があります」と挙がりました。デジ編集で取ってもらうことはできますか？

A 5. 雑音は、デジ編集で取れるものと取れないものがあります。音声と重なっている雑音は、編集での処理はできません。また、たくさん挙がっている場合は録音状態を再確認しますので、修正録音する前に職員にご連絡ください。



わかる 使える 広がる！ デジ図書徹底解説(第19回)

デジ図書のしくみを解説するこのコーナーでは、デジ編集ソフトウェア「PRS Pro」を使った実際の編集作業を紹介しています。今回は、「雑音、間、音量の調整」です。

聴きやすいデジ図書製作に欠かせないのが、不自然な間の調整や音量の調整、雑音の除去ですが、これらの調整作業は、音訳者の読みに合った適切な処理が求められます。当センターでの代表的な例を紹介します。

間（ま）の調整

*多くは、修正録音時やはめ込み録音時にできた無音部分や、各音声ファイルのつなぎ目です。

- ① 不自然に長い間……フレーズ分割して適切な長さのフレーズを残し、余分を削除します。

- ② 不自然に短い間……適切な長さの無音のフレーズを他の所からコピーし、貼り付けます（不自然になっていないか、必ず前後通しで聞いて確認）。

音量の調節

* 「音声ファイル編集ソフトウェア」を使って音量の上げ下げをします。

- ① 各音声ファイル全体の音量が大きい（または小さい）場合……ファイル全体の音量を下げます（上げます）。
- ② 部分的に大きい（または小さい）場合……該当箇所の範囲を指定して、その部分のみ音量を合わせます。

雑音（ノイズ）の除去

* ノイズと認識されるものには次のようなものがあります

- ・ 音訳者から発せられる音（口中音やお腹の音など）、ページをめくる音など
- ・ 環境音（周辺の音）、機械音（パソコン本体の音）、パソコン操作音
- ・ 録音用パソコンとマイクやキャプチャーとの不具合により発生する電氣的な音

* 全体的に入っているノイズの場合

- ① 「音声ファイル編集ソフト」を使ってノイズを除去します。
- ② 音訳者に伝え、録音設定を見直すなど、今後の課題とすることもあります。

* 部分的に入っている口中音や機械ノイズの場合

- ① 「音声ファイル編集ソフト」を使ってノイズ除去する方法……雑音の部分を範囲指定し、その部分のみ音量を下げ、雑音が聞こえないようにします。
- ② 「PRS Pro」上でノイズを除去する方法……雑音のあるフレーズを削除し、雑音のないフレーズをコピーして貼り付けます（前後が不自然になってないか要確認）。

【注意】 いずれの場合も、音声と重なっているノイズは、編集で除去することはできません。

間（ま）の調整や雑音の除去の際、注意していること

1. 音訳者の読みの流れを尊重し、間の切り貼りをする時は必ず音訳者に連絡をして、編集で行ってよいか確認します。また無理な切り取りや貼り付けは避け、できるだけ音訳者に修正録音を依頼します。
2. 間の数字（ポーズ長）で判断せず、連続再生（**F5**）で聞いて適切な長さを決めます。

3. 文末、セクション末の間の数字(ポーズ長)は揃えず、必ず前後を連続再生して、適切な長さかどうかを確認します。
4. 「口中音」や「機械音」は許容範囲かどうかを他の編集者や職員と相談します。

編集者ブラッシュアップコーナー

「コピー」「切り取り」「貼り付け」で修正する場合、心がけたいこと

1. 音訳者に、編集で処理しても良いか了解をとる。
2. 他の所から音声をコピーし貼り付けた時は、不自然でないか、第三者に聴いてもらう。

「音声ファイル編集ソフト」を使ってノイズ除去する場合の注意点

1. 全体的に入っているノイズの場合、編集を始める前にノイズ除去を行う(一旦作業を始めると、セクション分割によってファイルの数が増えてしまうため)。
2. 子音(サ行のsなど)が雑音と判断され消去されてしまうこともあるので、ノイズ除去後の音声を慎重に聴いて確認する。

よく使われている「音声ファイル編集ソフトウェア」

- ・Wavosaur (フリーソフト)
 - ・Sound Engine Free (フリーソフト、個人利用の場合のみ)
 - ・Sound Forge Pro (有料ソフト)
- ※ 編集作業中の「PRS Pro」を一旦終了しないと反映されないものや、終了しなくても反映されるものがあります。各ソフトウェア提供元のホームページでお確かめください。

フレーズの無音について

- *セクションの2フレーズ目と、セクション最終フレーズは無音にしない。
- *文中の無音部分はそのままでよい。
- *結合して「ポーズ長」の数字が「0.0」になっても問題ないですが、以下のいずれかの方法で「ポーズ長」を表示させることができます。
 - ① 「ツールメニュー」から「ポーズ時間検出」を選択し、実行する。
 - ② 無音部分の最後を少し(間の長さがおかしくならない範囲で)切り取り、削除する。
- *セクション最終フレーズの「ポーズ長」に規定はありません。連続再生し、音訳者の読むスピードや場面転換に合わせて適切な長さに調整してください。

館からのお知らせ

★ 第32回 専門音訳講習会(図表・古典・小説の読み方)受講者募集

毎日新聞大阪社会事業団と当館が共催する、音訳ボランティアとして活動中の方を対象とした講習会を今年も開催いたします。今年度は以下の3コースです。

*「図表」コース ……写真・図・表の読み方と音訳技術

日 程：5月15日～6月26日の毎週水曜日（5月29日を除く）、全6回

時 間：10～12時（5月15日と6月26日は10～13時）

定 員：15人（現在音訳活動中で、図表の音訳技術を習得したい方）

申込締切：4月27日（土）必着

*「古典」コース ……漢文、古文、古文書の読み方と音訳技術

日 程：5月18日～6月29日の毎週土曜日（6月8日を除く）、全6回

時 間：13～15時（5月18日と6月29日は13～16時）

定 員：15人（現在音訳活動中で、古典の音訳に興味のある方）

申込締切：5月11日（土）必着

*「小説の読み方」コース ……小説・児童書などの、会話文の内容を伝える読み方

日 程：6月4日（火）、6月7日（金）（同内容で2回開催）

時 間：10時～15時

定 員：各日20人（音訳経験3年以上の方）

申込締切：5月18日（土）必着

詳細は録音製作係（電話：06-6441-1017、メール：rec@iccb.jp）までお問い合わせください。募集要項は、完成し次第当館ホームページにも掲載予定です。

（なお、お申込多数の場合は、各グループ・団体ごとに人数調整を行うことがあります。）

★ 休室のお知らせ

4月28日（日）～5月6日（月・祝） 休館いたします。

長期の休館となりご迷惑をおかけしますが何卒よろしくお願い申し上げます。